

# DISCLOSURE2019

2019年度 上期の概況

# たちばなしんきん と 地域社会

～ この街と生きていく ～

皆様の大切な資金を  
地域に還元しています

【預金積金】  
123,281百万円  
【出資金】  
877百万円

当金庫は、お客様にご満足いただけるよう、預金商品の開発やサービスの充実に努めています。

地域のお客様

【有価証券での運用】  
20,704百万円  
【預証率】  
16.79%

○ご融資以外の運用について  
お客様からお預りした預金の一部を、有価証券で運用しています。対象の選定にあたっては安全性を第一とし、国債等の公共債や金融債等を中心に購入しています。

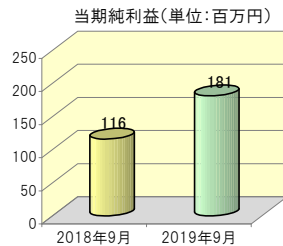
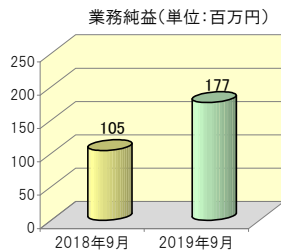
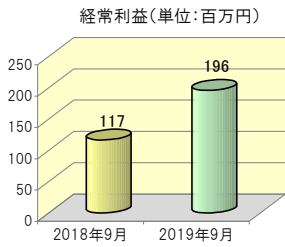
たちばな信用金庫  
常勤役員数180人

お客様からお預りした大切な預金は、地元で資金を必要とするお客様に融資を行って、事業や生活の繁栄のお手伝いをさせていただいております。

【貸出金】  
76,087百万円  
【預貸率】  
61.71%

○地域のお客様へのご融資について  
当金庫は、地域のお客様の幅広い資金ニーズにお応えしています。事業資金の融資や住宅ローンなどの個人向け融資を積極的に行っております。  
○お取引先への支援等について  
当金庫は、金融円滑化法の終了後におきましても、継続してきめ細かい課題解決型金融機能の推進を図り、経営改善や事業再生に向けたコンサルティング機能の発揮や販路拡大等への支援を行います。

## 主要な経営指標



- 経常利益  
本来の業務から得られる営業利益に、有価証券の売却益等の臨時収益や貸倒引当金等の臨時費用を加減したものです。
- 業務純益  
貸出金や有価証券の受入利息や受入手数料等の収入から、預金の支払利息や支払手数料、経費を差し引いたものです。
- 当期純利益  
経常利益に非反復的、非経常的な損益である特別損益を差し引いた税引前当期純利益から、法人税、住民税及び事業税を差し引いたものです。

## 単体自己資本比率(国内基準)

自己資本比率は「金融機関の健全性」を見る重要な指標です。信用金庫は、自己資本比率を4%以上維持し、健全な財務を保つことが義務付けられています。

●単体自己資本比率 (単位:百万円、%)

	2019年9月	
		経過措置による不算入額
コア資本に係る基礎項目(A)	5,302	
コア資本に係る調整項目(B)	11	
自己資本額(A)-(B)=(C)	5,290	
リスク・アセット等計(D)	63,729	
自己資本比率(C)÷(D)	8.30	
総所要自己資本額	2,549	

<参考> (単位:百万円、%)

	2019年3月	
		経過措置による不算入額
	5,148	
	9	2
	5,139	
	62,429	
	8.23	
	2,497	

※総所要自己資本額  
=リスク・アセット等計×4%

## 預金・貸出金の状況

●預金・貸出金の状況 (単位:百万円)

	2019年9月末	
預金	123,281	
貸出金	76,087	

<参考> (単位:百万円)

	2019年3月末	2018年9月末
預金	119,162	119,248
貸出金	75,883	73,185



## 貸出金の内訳（業種別）

	2019年9月末
製造業	2,330
農業、林業	215
漁業	35
鉱業、採石業、砂利採取業	—
建設業	5,778
電気、ガス、熱供給、水道業	220
情報通信業	16
運輸業、郵便業	599
卸売業、小売業	4,417
金融業、保険業	3,145
不動産業	15,160
物品賃貸業	253
学術研究、専門・技術サービス業	266
宿泊業	923
飲食業	1,324
生活関連サービス業、娯楽業	997
教育、学習支援業	139
医療、福祉	3,283
その他のサービス	3,916
小計	43,024
地方公共団体	3,485
個人(住宅・消費・納税資金等)	29,577
合計	76,087

	2019年3月末
製造業	2,495
農業、林業	94
漁業	55
鉱業、採石業、砂利採取業	—
建設業	5,708
電気、ガス、熱供給、水道業	168
情報通信業	20
運輸業、郵便業	602
卸売業、小売業	4,420
金融業、保険業	3,142
不動産業	15,782
物品賃貸業	212
学術研究、専門・技術サービス業	287
宿泊業	944
飲食業	1,363
生活関連サービス業、娯楽業	1,058
教育、学習支援業	56
医療、福祉	3,140
その他のサービス	3,921
小計	43,475
地方公共団体	3,604
個人(住宅・消費・納税資金等)	28,802
合計	75,883

※貸アパートもしくは貸ビル建設に係る貸出金は個人であっても不動産業へ計上しております。

※業種別の区分は、日本標準産業分類の大分類に準じて記載しております。

## 金融再生法ベースの債務者区分による開示(単体)

	2019年9月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	627
危険債権	1,756
要管理債権	31
正常債権	74,785
合計	77,200

	2019年3月末
	642
	1,770
	27
	74,378
	76,819

	2019年9月末		
	担保・保証等	引当金	保全率
破産更生債権等	353	274	100.00%
危険債権	1,027	442	83.72%
要管理債権	27	3	100.00%
合計	1,408	721	88.16%

	2019年3月末		
	担保・保証等	引当金	保全率
	359	283	100.00%
	1,013	457	83.07%
	24	3	100.00%
	1,397	744	87.73%

	2019年9月末
	3.12%

	2019年3月末
	3.17%

●金融再生法開示債権の開示基準は、担保や保証があり回収確実な部分や、貸倒引当金が計上されている部分、いわゆる保全可能分を含んで開示しています。よって全てが回収不能債権となる訳ではありません。

## 有価証券の時価情報

	2019年9月末			
	時価	評価差額	うち益	うち損
債券	16,687	418	422	3
株式	108	△15	4	19
その他	3,875	214	237	22
合計	20,671	617	663	46

	2019年3月末			
	時価	評価差額	うち益	うち損
	19,511	531	533	2
	103	△8	2	10
	3,299	73	118	45
	22,914	596	655	58

	2019年9月末			
	帳簿価額	含み損益	うち益	うち損
債券	—	—	—	—
その他	—	—	—	—
合計	—	—	—	—

	2019年3月末			
	帳簿価額	含み損益	うち益	うち損
	—	—	—	—
	—	—	—	—
	—	—	—	—

	2019年9月末			
	帳簿価額	含み損益	うち益	うち損
子会社・関連会社株式	—	—	—	—
非上場株式	32	—	—	—

	2019年3月末			
	帳簿価額	含み損益	うち益	うち損
	—	—	—	—
	32	—	—	—

●売買目的有価証券 該当ございません

(注)2019年9月末の「評価差額」および「含み損益」は、2019年9月末時点の帳簿価格(償却原価法適用後、減損処理後)と時価との差額を計上しております。

## 地域貢献活動など

### ● たちばなビジネスクラブ「未来」

地域経済の未来を担う経営者、後継者、経営幹部及び当金庫役員が勉強会等を通じて課題解決に努め、会員相互の能力向上、会員企業の発展、地域経済の発展に寄与することを目的として設立した“たちばなビジネスクラブ「未来」”が2期目を迎えました。

会員企業PR会を3回、多彩な講師陣による「働き方改革」「SDGs」「売上アップ」等をテーマにしたセミナーを6回開催しました。3月にはバスツアーを実施し、合資会社若竹屋酒造場14代目社長林田浩暢氏や久留米市のビジネスパーソンとの交流を図りました。

2019年9月には、3期目がスタートしました。第3回定期総会に一般社団法人九州アグリビジネス協会 代表理事 吉田要氏を迎え、「商品開発の考え方実践講座 ～今の努力を無駄にしない！売れない理由がわかれば、売りが変わる～」と題した記念講演会を開催しました。



### ● 地方自治体との連携

2019「よい仕事おこし」フェアの被災地支援企画「興し酒プロジェクト」の一環として取り組んだ「絆舞令和(きずなまいれいわ)日本酒カステラ・米粉カステラ」の完成セレモニーにおいては、製造元の地元で開催地となった雲仙市、同プロジェクトの支援対象地である福島県と縁があった長崎市に協賛をいただくとともに、雲仙市長、長崎市長からのメッセージもいただきました。10月に東京国際フォーラムで開催される「2019」よい仕事おこし「フェア」においては、諫早市の関連団体である諫早観光物産コンベンション協会にブース出展をしていただき、諫早市の魅力をPRしていただくこととなっています。



### ● 信用金庫の”つなぐ力”の活用

2015年から参加しているビジネスフェア「よい仕事おこし」フェアにおいては、今年度の開催から全国の25信用金庫で組織する実行委員会に加わりました。この取り組みから派生し、インターネットを使ったビジネスマッチングシステム「よい仕事おこしネットワーク」には当初から参加し、地元長崎の商品・技術を信用金庫の”つなぐ力”で全国に発信しました。

また、東京都の亀有信用金庫が開催した上場企業のOB等が現役時代に培ったスキルを生かし中小企業の支援を行う「新現役交流会」に参加し、現役時に大ヒットした商品の広告を担当した経験のある新現役の方にお取引先の商品の販路開拓の支援に携わっていただきました。



### ● ビジネスフェアへの出展

取引先の販路開拓の機会創出を目的として、東京都の城南信用金庫が主催する「インバウンド&全国逸品商談会」へ4先の参加斡旋を行いました。埼玉県さいたまスーパーアリーナで開催された埼玉信用金庫が主催する「さいしんビジネスフェア2019」へ1先の出展斡旋を行いました。また、岡山県のコンベックス岡山で開催された岡山県内8信用金庫が主催する「第15回岡山県しんさん合同ビジネス交流会」へ1先の出展斡旋を行いました。

10月に東京都の東京国際フォーラムで開催される「2019」よい仕事おこし「フェア」へ3先が、11月に福岡県のマリンメッセ福岡で開催される「第5回しんさん合同商談会」へ24先が出展する予定です。

### ● たちばな未来塾

地域経済への貢献を目的として、地域における若手経営者、企業後継者、女性経営者を育成するため、インクグロウ株式会社代表取締役鈴木智博氏を講師に迎え「第9期たちばな未来塾」を開講し、30名に受講いただきました。

この勉強会は7月17日～11月21日まで5回の講義を実施し、企業経営の基本から中期経営計画の策定までを修得していただけます。



### ● 創立70周年記念商品の取扱い

2019年12月8日に創立70周年を迎えるに際し、地域のみなさまに感謝の意を込めて、ローンおよび定期預金において記念商品の取扱いを開始しました。

ローンにおいては、インターネットでの仮申込みを可能とし、創立70周年記念キャンペーンとして最優遇金利を県内最低基準とした「たちばなマイカーローン」の取扱いを開始しました。定期預金においては、受入金利を店頭金利の3倍とした「よろこび3倍定期」の取扱いを開始しました。



### ● 地域行事への参加

のんご諫早まつりをはじめとした各地域で行われた夏祭り等の地域行事へ、日ごろのご愛顧に感謝する観点から積極的に参加し、地域の方々とはふれあい、「親近感湧くしんさん」を感じていただきました。

